

INDEX	大気汚染防止推進月間の事業報告	2
目次	「平成18年度エコドライブコンテスト参加自治体募集」について	5
	イベント等の開催報告および開催予定	6
	自治体の取り組み(環境保健施策)の紹介	10
	新刊・パンフレットのご案内	12



平成17年度

大気汚染防止推進月間 ポスター受賞作品

環境大臣賞



「青空はぼくらのごちそう」
森脇 美津保 さん
兵庫県立姫路工業高等学校2年

機構理事長賞



「飛びたくなる空 気持ちいい青」
米澤 美優 さん
鹿児島県立隼人工業高等学校2年

優秀賞



「歩いて買い物
青空が見えるよ」
山崎 円花 さん
富士市立富士中学校2年



「本当の白い雪が欲しいな...」
高橋 邦法 さん
岩手県紫波郡紫波町 教員

大気汚染防止 推進月間の事業報告

毎年、環境再生保全機構では環境省と全国都道府県との協力のもとに、都市における大気汚染濃度が一年のうちで高くなる12月の一ヶ月間を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物や浮遊粒子状物質等の排出低減を広く呼びかけています。

大気汚染物質排出量の低減及び国民各層の大気保全意識の高揚を図るため、以下のキャンペーンを行ないました。

ポスターの作成及び掲出

青い空の大切さや、一人ひとりがやるべきことなどを広く呼びかけるためのポスター（ ）を8万7千枚及び2006年版カレンダーを1万8千部作成し、全国の都道府県等に配付し、掲出の協力をお願いしました。

ポスター等の図案については、7月下旬から公募を行い、9月15日までに応募のあった3,122点の中から、漫画家の安井英彦氏、音楽家の湯川れい子氏らを交えて審査を行い、環境大臣賞や環境再生保全機構理事長賞16点の入賞作品を10月17日に決定しました。受賞作品はポスターやカレンダーなどの図案に活用するなど広く一般への周知を図っています。



環境大臣賞を活用したポスター



機構理事長賞を活用したカレンダー

新聞広告

大気汚染防止の大切さを呼びかけるため、小池環境大臣及び女優・タレントの石原さとみさんからのメッセージを交え、以下のとおり広告を行いました。

12月1日(木)付け朝日新聞の
朝刊1ページに新聞広告を掲載しました。



新聞広告

受賞者の声



受賞作品と記念撮影

環境大臣賞受賞

森脇 美津保さん(兵庫県立姫路工業高等学校2年)



「3,000点以上の応募作品の中から自分の作品が選ばれて嬉しいです。今回のポスターは、大気汚染防止推進がテーマだったので、青空はきれいなもの、人間がきれいな空気をいっぱい呼吸をしている姿を描きたかったので、キャッチコピー(『青空はぼくらのごちそう』)を膨らませて描きました。見る人に青空を見ると気持ちがいいもの、ポスターを見て気分が満たされるような絵にしようと思いました。」

環境再生保全機構理事長賞受賞

米澤 美優さん(鹿児島県立隼人工業高等学校2年)



「このポスターの出展は今年で5回目です。実は、環境大臣賞を狙っていたのでちょっと悔しいです。今回のポスターは、自分の気持ちを表しました。」



同行された
先生と記念撮影

ポスター図案入賞者表彰

平成 17 年度大気汚染防止推進月間のポスター図案に係る公募上位入賞者と大気環境保全活動功労者に対し、12月1日(木)に表彰式が行われました。



受賞者の記念撮影



受賞作品の展示

エコドライブコンテスト表彰

急発進や急加速をしないなど環境にやさしい運転（エコドライブ）についての活動を全国に普及させることを目的として、各事業所で行っているエコドライブに関する取り組み内容等を審査し、優秀な事業所を表彰するためのコンテストを実施しました。

本コンテストは地方自治体（札幌市、東京都、川崎市、名古屋市、北九州市）の協力により、参加された事業所数は113事業所、参加車両台数2,924台の応募がありました。その内容を地域毎に評価した結果を踏まえ、10月27日(木)の最終選考会（委員長 大聖泰弘：早稲田大学理工学部教授）において、環境大臣賞1事業所、環境再生保全機構理事長賞2事業所及び入賞10事業所が決定されました。

環境大臣賞	中越運送(株)深川営業所【東京都】
環境再生保全機構理事長賞	丸安運輸(株)【名古屋市】 玄海産業(株)本社【北九州市】

平成
18年度

エコドライブコンテスト 参加自治体募集！！

環境再生保全機構と環境省では、平成16年度より大気汚染防止推進月間行事の一環として『エコドライブコンテスト』を実施しています。

このコンテストでは、環境にやさしい運転（エコドライブ）についての取り組みや活動を全国に普及させることを目的として、各事業所で行っているエコドライブに関する取り組み内容等を審査し、優秀な事業所には環境大臣賞や環境再生保全機構理事長賞などの表彰を行っています。

これまで開催した2回につきましては、札幌市・東京都・川崎市・名古屋市・北九州市5地方自治体の参加、協力により、各地域内に所在する事業所が多数エントリーされており、今後さらに対象エリアを拡大していく予定です。

つきましては平成18年度エコドライブコンテストにご参加される地方自治体を募集します。

主催

環境省・独立行政法人環境再生保全機構

コンテスト内容

本コンテストは、地方自治体との協力及び連携のもと、各事業所で推進されている『エコドライブ活動』の実践内容と成果を評価します。

締切

平成18年2月末

「平成17年度の結果については、P.4参照

エコドライブコンテスト選考委員(17年度)

委員長 早稲田大学工学部 教授 大聖泰弘

委員 慶応義塾大学工学部 教授 飯田訓正

委員 交通エコロジー・モビリティ財団
交通環境対策部部长 加藤信次

委員 日本EVクラブ 代表 舘内 端

委員 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長
岡部 直己

委員 環境再生保全機構予防事業部長 細野 宏



平成17年度大気汚染防止推進月間表彰式で
小池環境大臣を囲み記念撮影

本件についての問合せ

独立行政法人 環境再生保全機構 予防事業部事業課
TEL:044-520-9567

イベント等の 開催報告及び開催予定

開催報告

低公害車フェア

平成 17 年 6 月に横浜市で、エコカーワールドを開催したほか、10 月にかけて、次の予防事業対象地域の地方自治体との共催で低公害車フェアが行われました。たくさんのご来場ありがとうございました!



名称	開催日	会場	延べ来場者数
低公害車フェア in KOBE 2005	10月 9日(日)~ 10日(月)	神戸市しあわせの村	12,700人
北九州エコカーフェア 2005	10月 9日(日)~ 10日(月)	リバーウオーク北九州	105,800人
低公害車フェア in おおさか	10月26日(水)~ 29日(土)	インテックス大阪	46,405人

「くるま・環境・技術 2005 ~ 燃料電池サマースクール ~」

「くるま・環境・技術 2005 ~ 燃料電池自動車サマースクール ~」は、「環境と交通に関する世界会議 in 愛知」を構成する 3 つのプログラムのひとつで、機構の主催により、参加・体験型の環境学習を行い、燃料電池自動車や環境問題、技術等に対して子どもたちの理解を深めることを目的として、以下の日程で開催されました。

< 概要 >

対象	開催日	会場	参加者数	備考
小学生	8月2日(火)~ 3日(水)	名古屋大学 (シンポジオンホール及び豊田講堂前)	約120人	燃料電池自動車一般試乗会は約70人が試乗

詳細はこちらへ http://www.erca.go.jp/summer_school2005/index.html



実験の様子



燃料電池車



講義の様子

開催報告

ぜん息児水泳記録会

平成17年度は以下のとおり開催いたしました。

名称	開催日	会場	参加者数
関東地区	平成17年10月15日(土)	東京都江東区/東京辰巳国際水泳場	約190人
関西地区	平成17年11月13日(日)	大阪市天王寺区/真田山プール	約120人

この水泳記録会は、大気汚染の影響による公害健康被害予防事業の一環として、ぜん息児童が一堂に会し、年間を通じた水泳訓練の足がかりとしていただくため、目標設定ができて人気もある泳力検定を含めたタイムレースを重点とし、昨年度に引き続き実施しているものです。

当日は子どもたちも日頃の成果を発揮し、招待水泳選手（関東：藤野舞子選手、関西：奥村幸大選手）と一緒に泳いだり、模範水泳の見学をしました。藤野選手からは、「子どもたちと交流を持てたことが楽しかった。自分は水泳をするようになって健康になったし、風邪もひかなくなった、水泳を好きになって何事にも積極的になって下さい。」とのコメントをいただきました。子どもたちも保護者の方にとっても楽しく有意義な1日となりました。



藤野選手（中央）と記念撮影（関東地区）



奥村選手から表彰（関西地区）

ぜん息予防講演会（一般の方々を対象）

機構では、地域住民の方々に、ぜん息の予防等に関する知識の普及を図ることを目的として、一般の方々を対象に、専門家によるぜん息やアレルギーに関する講演会を地方自治体等と協力して開催しています。

平成17年度は、12月までに千代田区他全4ヶ所で行いました。

右の写真は、千代田区で開催した講演会の様子です。当日（11月8日（火））は、約300名の来場者があり、講師の先生から「ぜん息とアトピー性皮膚炎の基礎知識～こどものアレルギー最新治療～」について講演がなされた後、来場者からの質問に対する回答がなされました。



イベント等の 開催報告及び開催予定

開催報告

ぜん息フォーラム（一般の方々、教育関係者等を対象）

「ぜん息フォーラム」は、子どものぜん息の最新で標準的な治療・管理及び家庭や学校における対処の方策等について、専門医による講演や質問・相談コーナー等を通じ、正しい理解を普及し、ぜん息児の保護者や学校関係者の協力・連携にお役立ていただくとする事業です。

平成 17 年度は 12 月までに名古屋市、杉並区で行いました。

右の写真は、名古屋市内で開催したフォーラムの様子です。

当日（9月6日（火））は 223 名の来場者（教育関係者 176 名、一般参加者 47 名）があり、講師の 2 人の先生によりそれぞれ「小児のぜん息の最新事情、家庭における対応」、「小児のぜん息の治療・管理に関わる学校生活における対応」をテーマとする講演を頂いた後、来場者との質疑応答がなされました。



ぜん息予防講習会（保健師等対象）

ぜん息児の快適な学校生活等を支援するため、各地域の公立学校等においてぜん息児等の保健指導に携わる方を対象に、講習会を実施しています。

平成 17 年度は 12 月までに 7ヶ所で開催しました。

右の写真は、倉敷市での講習会の様子です。当日（8月22日（月））は、市内の小・中・高等学校の養護教諭 88 名が出席し、専門医から「ぜん息及びアレルギーによるアナフィラキシーショックについて」講習がありました。同講習会については、「学校でぜん息発作やアナフィラキシーショックが起きる可能性は十分にあり、そうした際の『ケア』や『医療機関と連携』、『日頃からの予防促進』という大きな使命が養護教諭にある。」といったことが実感される内容となりました。



イベント等の今後の開催につきましては9ページの「開催予定」をご覧ください。

第39回東京モーターショー 2005 シンポジウム 「目からウロコ!エコドライブってとっても簡単・発見・驚き」

10月22日(土)～11月6日(日)第39回東京モーターショーが環境と省エネルギーを大きなテーマとして千葉市・幕張メッセにて開催されました。機構では、エコドライブ普及推進を目的として著名人を交え、エコドライブ実践のコツやメリットなどについて以下の内容のシンポジウムを開催しました。

当日は出演者によるエコドライブについてのQ&Aやエコドライブ体験ビデオの上映を中心に意見交換などが行われました。

<概要>

開催日	会場	備考	ラジオ放送
10月29日(土)	千葉市(幕張メッセ)	環境省、機構、 (社)日本自動車工業会、 (財)省エネルギーセンターと共催	東京FMで11/3(木)、午後2時より「東京モーターショースペシャルエコドライブ トーキョー2005」と題してオンエア

シンポジウム出席者(職業/ポイント)

- 保坂 尚希(俳優・レーサーでもありプロ級の運転技術を持つ)
- 長谷川 理恵(モデル・ドライブが大好き)
- 和田 由貴(節約アドバイザー・節約の達人)
- 菰田 潔(日本自動車ジャーナリスト協会副会長・エコドライブの達人)
- シキタ 純(環境NPO法人Be Good Cafe代表・司会進行役)
- 鈴木 万由子(東京FMパーソナリティ・司会進行役)



「身につけよう わたしのエコカーライフ!環境にやさしい、車との10のつきあい方について」を機構ホームページで紹介しています。詳細は <http://www.erca.go.jp/taiki/ecocarlife/index.html>

開催予定

ぜん息の予防等に関する講演会 (一般の方々を対象)

テーマ・講師	開催予定日	会場	備考
ぜん息予防講演会 「正しく知って、上手につきあおう乳幼児の食物アレルギー・アトピー性皮膚炎とぜん息」 海老澤 元宏 先生(独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー性疾患研究部長)	3月11日(土)	神戸市教育会館	神戸市と共催

詳細は機構ホームページ(URL:<http://www.erca.go.jp/asthma2/event/lecture.html>(講演会))でお知らせいたします。

ぜん息の予防等に関する講習会 (公立学校等の養護教諭対象)

対象	開催予定日	会場	テーマ・講師
名古屋市内 小中学校養護教諭等	2月8日(水)	伏見ライフプラザ 鯉城ホール	「気管支ぜん息児に対する心理的サポートについて」 松崎 くみ子 先生(昭和大学医学部小児科)
東京都内小中・高等学校の 教諭等学校関係者	2月14日(火)	東京都社会福祉保 健医療研修センター	「アレルギーと学校生活」(ぜん息、アナフィラキシーを中心に) 松井 猛彦 先生 (国際医療福祉大学附属三田病院小児科部長)

詳細は機構ホームページ「ぜん息などの情報館」(<http://www.erca.go.jp/asthma2/index.html>)内でお知らせいたします。

自治体の取り組みの紹介(環境保健施策)

公害健康被害予防事業対象自治体では、ぜん息等の発症の予防、健康の回復・保持・増進を図るため、健康相談事業、健康診査事業、機能訓練事業を行っています。これらをまとめて「ソフト3事業」と呼び、環境再生保全機構はこれら3事業を行う地方自治体に対し、助成を行っています。

ここでは各自治体で実施している健康相談事業と機能訓練事業のうち、ぜん息キャンプ事業、水泳教室、音楽教室について紹介します。

健康相談事業

対象地域の居住者を対象に医師、保健師、栄養士等により疾患に関する相談及び指導を行っているものです。



講演の様子

新宿区集団指導

新宿区で行われている集団指導(アレルギー相談)を紹介します。

<概要>

テーマ・講師	開催日	会場	参加者数	対象者
「子供のアレルギーについて」 中山 智博 先生 (東京女子医科大学小児科)	平成17年11月30日(水)	新宿区榎町地域センター	約40組の親子	1歳未満の乳児と保護者

講演後、新宿区保健所衛生課生活衛生係より、「環境の話」(アレルギーに関連したダニアレルゲンについて)があり、「住まいの環境診断」の申し込み受け付け(電話でも受付)も同時に実施しました。

新宿区公害保健係より

お子さんのアレルギーで悩んでいるお母さんがたくさんいます。一人で悩まずに同じ悩みのお母さんがいることを知って欲しいです。そのためにも行政側が積極的に地域に出て事業を実施してまいりたいと思います。

ぜん息キャンプ事業

15歳未満のぜん息児童を対象に、医師の健康管理のもと、専門の指導員により療養生活上の指導等を行うことにより、当該児童の健康の回復・保持・増進を図ることを目的としています。

平成16年度は、32地方自治体で行われ、延べ7,880人のぜん息児童が参加しました。

八尾市ぜん息キャンプ

右の写真は、「八尾市平成17年度ぜん息キャンプ事業」の様子です。今後もキャンプ等に参加し、ぜん息に負けない体作りを目指してほしいです。



ラジオ体操の様子

<概要>

対象者	開催日	開催地	参加者数
八尾市内在住の小学校低学年から中学生まで15歳未満のぜん息児童	平成17年8月27日(土) ~29日(月)	兵庫県朝来市	約30人

水泳教室

15歳未満のぜん息児童を対象に、心身の鍛錬などのために医師の健康管理のもと、専門の指導員による水泳訓練を行っています。平成16年度は、39の地方自治体で、延べ32,969人のぜん息児童が参加しました。

墨田区水泳教室

墨田区で行われている水泳教室を紹介します。
平成17年度は、年2回実施しました。

<概要>

開催日	会場	講師	参加者数
平成17年8月24(水)~ 26日(金)計3回	墨田区両国 屋内プール	富田 民子 先生 (日本水泳連盟)	約30人 (12/7)
平成17年11月9日(水)~ 12月21日(水) 毎週水曜日(計6回)			



教室の様子 1



教室の様子 2

富田先生は「教室では、泳力より、呼吸のタイミングや水中の呼吸を学び、遊んで続けるうちに泳げるようになって欲しい。」とおっしゃっていました。先生ご自身も4年前にガンを患い、水泳でリハビリされたそうです。実体験に基づく貴重なお話を伺うことが出来ました。

音楽教室

音楽教室は腹式呼吸を習得するために、専門の指導員により、吹奏楽器等を用いて音楽訓練を行っています。腹式呼吸は発作時に薬を使用することなく苦痛を緩和する方法として知られています。

平成16年度に13の地方自治体で開催された音楽教室には、延べ661人のぜん息児童が参加しました。

板橋区音楽教室

板橋区の音楽教室を紹介します。

<概要>

開催日	会場	講師	参加者数
平成17年12月5(月) ~7日(水)3日間	板橋区 グリーンホール	福田 義子 先生 (音楽療法士)他	約20人 (12/5)



ピッチパイプを吹く様子

指導される福田先生は「患者さんで腹式呼吸を覚えて発作が少なくなり役立っているとの話も聞いています。本やパンフレットだけでは伝わらないので、教室で体験して欲しい。」とおっしゃっていました。

この日は、ピッチパイプ(ギターの調弦用の笛)で音を出したり、遊びながら、腹式呼吸を覚える内容でした。

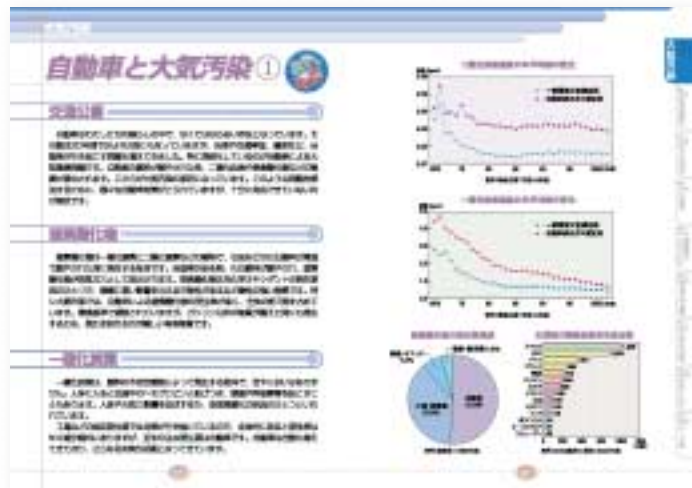


「チョウチョ」になって飛び様子

新刊・パンフレットのご案内

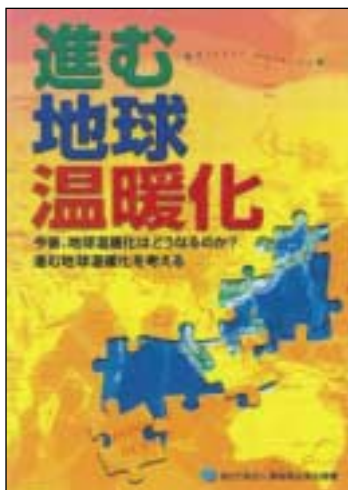


なるほど環境ディクショナリー



わたしたちが暮らす地球の環境に起きている数々の問題についてキーワードごとにやさしく解説しています。また付属のCD ROMでは、この本の内容についてどれだけ理解できたかをクイズ形式によって復習することができます。

進む地球温暖化



地球温暖化のメカニズムや、このまま温暖化が進んだ場合の様々な影響、現在、国内外で起きている異常気象などを解説しています。また、地球温暖化を食い止めるための各種の法律や規制などについても分かりやすく説明し、日常生活でもできる取り組みを紹介しています。

健康被害予防事業だより 第35号 2006年1月号
発行 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部管理課
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュージアム川崎セントラルタワー 8F
TEL : 044-520-9564 (ダイヤルイン)
FAX : 044-520-2134

【パンフレット等のお問い合わせ先】
公害健康被害予防事業に関わる出版物等の入手またはビデオの貸し出しを希望される方は予防事業部事業課(044-520-9567~9568)(ダイヤルイン)(土日祝日を除く平日9:00~18:00)までお問い合わせください。費用は無料です。なお、当機構ホームページURL:<http://www.erca.go.jp> からでも申し込みます。

次号(No.36)は、2006年7月に発行予定です。